## 生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター

施設名/足立区東和地域学習センター

【評価対象年度】令和元年度 【自己評価】令和2年4月30日 【評価点】水準を大きく上回る:5点 水準を上回る:4点 水準を下回る:2点 水準を大きく下回る:1点

【評価委員会】令和2年8月20日 水準どおり(水準クリア):3点

大項目	中項目	確認項目								
1										
管理	A 適切な 管理の履 行	協定(評価点×2)や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員会					
状 況		1 施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付 など	6. 0	6. 0						
		2 職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置 など	6. 0	6. 0	18. 0					
		3 人材育成の取り組み(意識、接遇の向上) ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施 など	6. 0	6. 0	(満点=30点)					
		指 定 【アピールポイント】毎年度、新入社員研修、2年目研修、教育係研修と 管 で行っている。2月に全体研修を予定していたが、コロナウイルス感染防			ーを社内全体					
		者 記 【改善すべき点·課題等】入社年度に分けた研修を継続して取り組むこと へ に合わせた社内研修を行っていく。	、広報研修、	収支研修等 =	も行い各項目					
		□ 記記								
		評 記価 入委 欄類 【その他注意点】								
				評価点						
		施設の安全性は確保されているか	指定管理者	担当課	評価委員会					
		1 施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応 など	3. 0	3. 0						
	B 安全性 の 確保	2 施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案 など	3. 0	3. 0	12. 0					
		3 利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理 など	3. 0	3. 0	12. 0					
		<ul><li>危機管理(防災・防犯・事故対応)が適切に行われている</li><li>4 ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知 など</li></ul>	3. 0	3. 0	(満点=20点)					
		指定管 では、アピールポイント】改修工事直後より体育館屋上から、雨漏りが発生。都度、屋上の設備状況を把握し報告する。利用者には丁寧な説明を行い対応する。修理を行うも改善が見られなかったため、今年度3月に大規模な工事を行う。その他、空調機の修繕などを対応する。								
		記 入 人 概 【改善すべき点·課題等】今後も維持管理の徹底を継続して行い、施設・設備の異常の早期発見に努める。								
		登記   【特記事項】大規模改修後にもかかわらず発生する不具合に、適切に対応	<b>ふしている</b> 。							
		評[評価すべき点]体育館の雨漏りへの対応等、適切な安全確保対策がとられている。 記価 【改善すべき点】 欄側【その他注意点】								
			評価点							
	C 法令等 の守倫含 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか	指定管理者	担当課	評価委員					
		1 個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施 など	3. 0	3. 0	0.0					
		2 個人情報事故への対応 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3. 0	3. 0	9. 0					
		3 各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3. 0	3. 0	(満点=15点)					
		【アピールポイント】プライバシーマーク制度を取得して、規定通りに個人情報保護に取り組んでいる。								
		『記 人 人 人 概 区								
		記 入 人 機 【特記事項】問題なく取り組めている。								
		評 【評価すべき点】コンプライアンスに十分留意して運営されている。 【改善すべき点】 欄員 【その他注意点】								

一つされた		評価点			
週別は	な財務運営・財産管理が行われているか	指定管理者	担当課	評価委員	
1 ◆숙	正な財政状況及び経理処理を行っている 令和元年度収支 (-535千円) 経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備 など	3. 0	3. 0	3. 0 (満点=5点)	

D 適切な 財務·財 産管理

【アピールポイント】経理は、経理担当者が本社経理担当と連携して経理システムを利用して帳簿、関係書類を整備していく。

「アピールポイント】経理は、経理担当者が本社経理担当と連携して経理システムを利用して帳簿、関係書類を整備していく。 【改善すべき点・課題等】今年度は、事業向上のため職員を1名増やした。他の経費を抑えたが、マイナスとなってしまった。

区記入欄 【特記事項】帳簿、関係書類の整備はできている。職員の1名増のため収支がマイナスとなってしまったが、 次年度に期待したい。

【評価すべき点】財務管理は適切に行われている。 【改善すべき点】職員増員により収支がマイナスとなっている。次期に期待したい。

【その他注意点】

大項目	中項目	確認項目					
2					評価点		
事業効果		仕	様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか	指定管理者	担当課	評価委員	
			利用促進に向けた取り組み(広報·PR等) ◆ホームページ、SNS、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5. 0	5. 0		
			A型事業(事本的な生涯学習事業)の企画・実施・成果 ◆ A 型事業の企画・実施・成果	5. 0	5. 0		
		3	B型事業(重点事業)の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	4. 0	4. 0	23. 0	
		4	C型事業(拡張事業)の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	4. 0	4. 0		
	A 学習事	5	▼0至事業の正国	5. 0	5. 0	(満点=25点)	
	A 字省事 業の取り 組み	定管理者記	【アピールポイント】広報面ではHPのリニューアルを行い、スマートファなるよう改善を行った。アクセス件数も大幅に伸びた。事業面では、独倉を開催。料理講座を月1回以上開催することを目標とし、食育講座を7回、開催した。(4月~1月分計上)	創性のある講 ベジタベ講	座として「暗 座を7回、結:	・すい画面に f闇ズンバ」 果として14回	
		入欄	【改善すべき点·課題等】定員不足による中止となる事業が数件あり、広う。	報時期や開催	時期の企画.	見直しを行	
		区記入欄	【特記事項】「アロマ」や「料理」をテーマに多彩な内容の講座を多数限ことで、広く内容の周知が図られている。今後は、多彩な講座の開催はも 的な広報による更なる利用者数増を期待する。				
		記価 入委	【評価すべき点】フリースペースの利用増、男性や中学生も参加しやすいがあり、積極的な姿勢は評価できる。広報・PRが十分に活かされており、伺うことができる。 【改善すべき点】定員に満たない講座の中止が数件あった。利用者増への 【その他注意点】	ホームペー	ジのアクセス		
					評価点		
	B 学習支 援の取り 組み		設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか 	指定管理者	担当課	評価委員	
		ı	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、利用者懇談会の運営 など	5. 0	5. 0	15 0	
			区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携 など	5. 0	5. 0	15. 0	
		3	・ 地域特性の配慮、人材の活用  ◆区内人材活用、地域との連携 など	4. 0	5. 0	(満点=15点)	
		定管理者	【アピールポイント】連携事業は新たに3団体と連携し、講座数、参加数 地域特性として、東和地区が親子・子どもが多い地区であることから子育 に「先輩ママ」シリーズでは、子育てに対する悩みや不安を解消する講座	育て世代に向 座として開催。	けた事業を多	·数開催。特 ————————————————————————————————————	
		記入欄	【改善すべき点·課題等】連携団体、連携講座を継続して力を入れて取り 団体との連携事業を増やす。	組む。特に連	携講座につ	いては、地域	
		区記入欄	【特記事項】ボランティアがイベントの運営を主体的に行う東和将棋大会講座など、人材育成に成功した例が多い。今後は新たなボランティア育成				
		評価委欄員					

	// Jak //			評価点	
	仕様書や引	<b>事業計画に沿った図書館事業が提供されているか</b>	指定管理者	担当課	評価委員
		置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 記置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果 など	5. 0	5. 0	10. 0
	2 読書推進	進活動の企画・実施・成果 進活動、連携事業の企画・実施・成果 など	5. 0	5. 0	(満点=10,
ご図書館 事業の取 り組み	指定管理者 別 お お た を り り り り り り り り り り り り り り り り り り	-ルポイント】理化学研究所が編集した「科学道100冊」を使用し を扱った、がん情報コーナーを新たに設置。特集の実施回数、貸 図書館バッグを作ろう!」や「ボードゲーム」を行い、普段イベ	出数は前年度	を上回った。	センター発送
	区 記 入 欄	事項】新規事業や独自事業の実施が目標の達成につながっている	0 0		
	記価 の関心を 入委 【改善す	すべき点】今を把握した情報を書架マップ更新や新規コーナー設 を集め目標を達成している。 すべき点】 也注意点】	世置等様々な事	業に活かする	ことで参加者
		月状況となっているか		評価点	T
		変化など外部要因を考慮)	指定管理者	担当課	評価委員
	◆利用率	役・体育館の利用状況が基準を達成している 軽の基準値、目標値超 軽基準値/学習施設60%、体育館95%、ホール70% 目標値/前指定管理期間5ヵ年平均 学習施設39%、体育館97%	5. 0	5. 0	10. 0
	2 ◆利用者	D利用者数及び貸出冊数が基準を達成している 皆数, 貸出冊数の基準値超 人数(166, 676人) ※基準値/161, 642人	5. 0	5. 0	
		冊数(249,418冊) ※基準値/242,485冊			(満点=10
)利用の 状況	貸出冊 指 アピー 料理室対 者を対象	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ 象に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利	·クリエーショ:  用率向上を達原 	ンホールにで 成した。 ———	ーズは夜間 <i>0</i> てズンバ経駅
	貨出 ピーを対 大塚 で と で は で と で が き い に と で が き い に 化 催 化 に に か に か に か に か に か に か に か に か に か	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ象に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利けべき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度でいく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室	・クリエーション  用率向上を達成    も継続して夜間    との利用率向上に	ンホールにで成した。 開催の講座に努める。	- ズは夜間 <i>0</i> てズンバ経駒 を積極的に
	指定管理者記入欄 区記 指定管理者記入欄 区記 に ちむり ちゅうし 特記 に いっこう いっこう はいい はい	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ象に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利すべき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度等	・クリエーション  用率向上を達成    も継続して夜間    との利用率向上に	ンホールにで成した。 開催の講座に努める。	- ズは夜間 <i>0</i> てズンバ経駒 を積極的に
	指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員 ア理を 改し 特率 評。改改 特率 評。改 で 記向 価 等 の の 価 等 の の の 価 等 の の の の の の の の の	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ象に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利けべき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度・いく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室事項】料理講座ばかりではなく、料理室で子ども向けの実験講座上につながっていることは大きく評価できる。 けべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】	クリエーション  用率向上を達用 も継続して夜間 の利用率向上	ンホールにで 成した。 I開催の講座 こ努める。 <b>鈴講座を多</b> 数	ーズは夜間の てズンバ経駆 を積極的に 数開催し、和
	指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員 【料者 【催 【用 【る【【 ている」 は でき が まの 価 善の の 価 きの の の の の の の の の の の の の の の の の	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ象に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利けべき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度・いく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室事項】料理講座ばかりではなく、料理室で子ども向けの実験講座上につながっていることは大きく評価できる。 すべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】	クリエーション  用率向上を達用 も継続して夜間 の利用率向上	ンホールにで 成した。 I開催の講座 こ努める。 <b>鈴講座を多</b> 数	ーズは夜間の てズンバ経駒 を積極的に 変開催し、乖
	指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ象に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利けべき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度にいる。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室事項】料理講座ばかりではなく、料理室で子ども向けの実験講座上につながっていることは大きく評価できる。まべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】	クリエーション  用率向上を達用 も継続して夜間 の利用率向上	ンホールにで成した。  別開催の講座に努める。  強講座を多数	ーズは夜間の てズンバ経駆 を積極的に な開催し、乖
	指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員 7理を 改し 特率 評。改そ 者 営職 工	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ象に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利けべき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度等いく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室事項】料理講座ばかりではなく、料理室で子ども向けの実験講座上につながっていることは大きく評価できる。 はべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】	クリエーショ: 月用率向上を達身 も継続して夜間 の利用率向上( をやアロマの体)	ンホールにで成した。  開開催の講座に努める。  検講座を多数  性に努めた原	ーズは夜間の てズンバ経駆 を積極的に な開催し、乖
	指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員 <b>利</b> 1 2 金 数 すし 専 正 日 本 会 すし 専 正 の 正 の 正 の 正 の 正 の 正 の 正 の 正 の 正 の 正	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ象に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利力でき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度等いく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室事項】料理講座ばかりではなく、料理室で子ども向けの実験講座上につながっていることは大きく評価できる。まべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】と注意点】	クリエーショ: 月用率向上を達身 も継続して夜間 の利用率向上( をやアロマの体)	ンホールにで成した。  別開催の講座に努める。  検講座を多数  進に努めた原  担当課	でズンバ経駆 を積極的に を積極的に 数開催し、系 数果が見え
状況	指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員 <b>利</b> 1 2 3 1 1 2 3 1 2 3 1 3 1 4 1 2 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ東に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利まべき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度まいく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室事項】料理講座ばかりではなく、料理室で子ども向けの実験講座とにつながっていることは大きく評価できる。まべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】と注意点】  満足を得られているか(評価点×2)  建度  の接客態度、説明や事務処理の的確さ  の情満足度  の清潔さ、使いやすさ、館内表示 など  建度	クリエーショ: 月用率向上を達身 も継続して夜間 の利用率向上( をやアロマの体)	ンホールにで 或した。 間開催の講座 に努める。 検講座を多数 進に努めた原 担当課 10.0	でズンバ経駆 を積極的に を積極的に 数開催し、系 数果が見え
	指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員 <b>利</b> 1 2 3 4 目	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ東に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利力でき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度等かく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室事項】料理講座ばかりではなく、料理室で子ども向けの実験講座とにつながっていることは大きく評価できる。まべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】と注意点】	クリエーショ: 月用率向上を達身 も継続して夜間 の利用率向上( をやアロマの体)	ンホールにで 或した。 開開催の講座 に努める。 検講座を多数 進に努めた原 担当課 10.0	- ズは夜間の でズンバ経齢 を積極的に 数開催し、和 数果が見え - 34.0
状況 利用者	指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員 <b>利</b> 1 2 3 4 指定管	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ東に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利力でき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度等いく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室事項】料理講座ばかりではなく、料理室で子ども向けの実験講座とにつながっていることは大きく評価できる。 なべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】 地注意点】  満足を得られているか(評価点×2)  建度 の接客態度、説明や事務処理の的確さ の情満足度 の清潔さ、使いやすさ、館内表示など  建度	クリエーション リ用 本継続してを をの利用 マの体験 を画し、利用促発 指定管理者	ンホールにで 対した。 開催の講座 に努める。 検講座を多数 性に努めた原 担当課 10.0 10.0 6.0 8.0	- ズは夜間の でズンバ経齢 を積極的に 数開催し、和 数果が見え - 34.0 - (満点=40,
状 利の足ア 用 度ン	指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員 <b>利</b> 1 2 3 4 指定管理者記入	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ東に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利力でき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度等かく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室事項】料理講座ばかりではなく、料理室で子ども向けの実験講座上につながっていることは大きく評価できる。まべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】とまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	クリ率 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	ンホールにで 対した。 間開催の講座 に対した。 議講座を多数 進に努めた原 担当課 10.0 10.0 6.0 8.0 ていれば清却	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で
t 利の足アトに 用の足アトに 者 度ン調よ	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ東に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利まべき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度等なく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室事項】料理講座ばかりではなく、料理室で子ども向けの実験講座上につながっていることは大きく評価できる。まべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】を生まれているか(評価点×2)を度である。  「大き点」を表現しているか(評価点×2)を表現しているが、では、また、値内表示などでは、での活動効果、意欲の向上などである。までの活動効果、意欲の向上などである。までき点・課題等】ミニコミ紙『待夢』の認知度が低い。ミニコミができ点・課題等】ミニコミ紙『特夢』の認知度が低い。ミニコミができ点・課題等】ミニコミ紙『特夢』の認知度が低い。ミニコミができ点・課題等】ミニコミ紙『特夢』の認知度が低い。ミニコミができ点・課題等】ミニコミ紙『特夢』の認知度が低い。ミニコミができ点・課題等】ミニコミ紙『特夢』の認知度が低い。ミニコミができ点・課題等】ミニコミ紙『特夢』の認知度が低い。ミニコミができ点・課題等】ミニコミ紙『特夢』の認知度が低い。ミニコミができた。・課題等】ミニコミ紙『特夢』の認知度が低い。ミニコミができた。・課題等】ミニコミ紙『特夢』の認知度が低い。ミニコミのでは、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	クリ率 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	ンホールにで 対した。 間開催の講座 に対した。 議講座を多数 進に努めた原 担当課 10.0 10.0 6.0 8.0 ていれば清却	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で
t 利の足アトに 用の足アトに 者 度ン調よ	指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員 利 1 2 3 4 指定管理者記入欄 区記入欄 評価委員	ールポイント】夜間時間帯の利用促進に特に力を入れた。「男性を使い、男性をターゲットに開催。「暗闇ズンバ」では夜間のレ東に開催。夜間開催の講座を積極的に開催することで、施設の利力でき点・課題等】夜間時間帯の施設利用率が低いため、次年度等かく。また、夜間時間帯だけでなく、利用率の低い料理室・和室内ではなく、料理室で子ども向けの実験講座上につながっていることは大きく評価できる。またき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】ターゲットを絞り、夜間開催講座を多彩な角度から企まべき点】  「大き点」を存られているか(評価点×2)  「大き点」を存られているか(評価点×2)  「大き点」を存られているか(評価点×2)  「大き点」を表現である。  「大き点」を表現である。  「大き点」を表現である。  「大き点」を表現である。 「大き点」を表現である。 「大き点」を表現である。 「大き点」を表現である。 「大き点」を表現である。 「大き点」を表現である。 「大き点」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。ことを継続して続ける。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。  「大き点・課題等」を表現である。  「大き点・課題等」を表現である。  「大き点・課題等」を表現である。  「大き点・課題等」を表現である。  「大き点・課題等」を表現である。 「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。  「大き点・課題等」を表現である。  「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現である。また、SNS「大き点・課題等」を表現できまれている。また、SNS「大き点・課題等」を表現できまれている。また、SNS「大き点・課題等」を表現できまれている。また、SNS「大き点・課題等」を表現できまれている。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また。また、SNS「大き点・に対している。また、SNS「大き点・に対している。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。	クリ本総元 であり、クリート を変われる であり、クリート を変われる であり、 クリート であります であります であります であります であります であります であります であります であった であいる でんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はんしょう はんしょく はんし はんしょく はんしょ	ンホールにで 対した。 開催の高。 設講座を多数 進に努めた原 担当課 10.0 10.0 6.0 8.0 ていれば清拝 3介を行う。	で で で 積極的に 数開催し、 大 数果が見え (満年40) 素を行い、 満たい、 満ため、 満ため、 ため、

特記事項 (評価委員会に よる総合評価を 記入) 経年劣化による施設設備の不具合にも十分に対応し、さらに地域との連携をめざし独自の工夫を凝らした講座を開催するなど、意欲的な運営姿勢は高く評価できる。男性が料理に親しむことが多くなってきたことを捉え、男性・中学生が参加しやすい料理講座のコンセプトで実施できたことはたいへんよいと思う。また地域の人材を活用した「先輩ママ講座」は、子育て世代相互の学びの場として活用されており、地域のニーズに対処した事業展開に期待が持てる。

しかし、アンケートを見ると「他を利用したことがない」が非常に多いことから、施設の利用目的を単一のものではなく複数利用へ広げていく余地がありそうである。

## 【評価委員会評価結果】

評価委員会 評価結果 得点 評価 134 A-

 $\Rightarrow$ 

総合評価 A-

※評価結果は評価委員会が行う。 ※小数点以下は切り捨て、整数とする。

## 〈評価委員会評価基準〉

評点						評価基準			
	満点	標準点	<mark>75</mark> %以上		~			54%以下	
	<b>啊</b> \( \tau \)	で生ま	A +	Α	A —	B+	В	B-	С
	170点	102点	153点以上		128点以上 141点以下	114点以上 127点以下	101点以上 113点以下	92点以上 100点以下	91点以下
得点率			90%以上	~	83%以下	67%以上	~	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」(水準クリア)の評価を受けた場合の得点。

※「A」は満点の0.75倍以上(小数点以下切上)、「C」は満点の0.54倍以下(小数点以下切捨)とする。